令和３年度 高志中学校１年 福井県立美術館研修

１　期　　日　１０月２１日（木）

２　目　　的　福井県立美術館を訪問し研修することで、本物の作品に触れ芸術に親しむ。「岐阜県美術館名品展（ももきねの美　清流の旅）」および「見せます、魅せます日本の美“うつくしの逸品”コレクション展」を鑑賞し、『高志学　福井の歴史（とき）』をテーマとした探究活動の一助とする。

３　場　　所　福井県立美術館

４　参加生徒　８７名

５　報　　告

特別展では、岐阜県美術館名品の数々が展示されていました。志野焼をはじめとする陶器や、掛け軸や屏風などの展示品があり、作者によって作品に登場する人物の描き方が異なるなど、興味が惹かれるところばかりでした。また、福井県ゆかりの作者の作品も展示されており、それぞれの作品を比較することで、当時の作者の思いを想像したり、作品から想像できる疑問などを抱いたりすることができたのではないでしょうか。

［生徒の感想］

家族で来たときよりも、たくさんのことを知ることができました。前田青邨さんが用いている自分を表すはんこが、表現したいものに合わせて形を変えていることに気づきました。やわらかい印象の作品には丸の形で、武将を描いた作品では四角の形で力強い字のはんこが押してありました。今後調べてみたいです。

岐阜県美術館名品展は迫力がありました。特に、「奥田元宗」作の『あかね燃ゆる』は部屋全体が深い赤に包まれていて美しかった。２階では、昔の日本地図、世界地図が展示されていて、昔の技術であそこまで正確に描くためにどのような方法でしたのか、とても気になっている。